

平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

公益社団法人 いちちょうの樹

目 次

I. 事業概況	1
II. 事業実績	
1. 精神障害者に対して、救急・急性期治療等の医療を提供するとともに、リハビリテーションの実施をはじめとする各種社会復帰のための支援を行うことで、公衆衛生の向上を図る事業	2
(1) 診療実績 メンタルホスピタル鹿児島	
(2) 診療実績 メンタルホスピタル鹿屋	
(3) 精神科領域診療業務委託実績	
(4) 精神科リハビリテーション実績	
(5) へき地医療・離島医療支援実績	
(6) 共同生活援助実績	
(7) デイケア実績	
(8) 訪問看護実績	
(9) 就労継続支援事業実績	
2. 精神障害者の権利と安全の管理強化	4
(1) 病院機能評価更新	
(2) 九州・沖縄ブロック「大規模災害実動訓練」参加	
3. 生活困窮者に対して、無料又は低額な診療を提供することで、公衆衛生の向上を図る事業	5
(1) 無料低額診療実績	
4. 地域住民を対象とした予防措置や治療方法等の普及・啓発の事業実施、各種相談への対応を行うことで、精神科医療への理解促進と地域の福祉向上を図る事業	5
(1) 無料メンタルヘルス相談会実績	
(2) リワーク（復職支援）プログラム	
(3) 精神科領域等の講師派遣活動	
(4) 地域支援活動等	
(5) 鹿児島県精神科救急システム当番病院実績	
(6) 鹿児島県精神科医療電話相談窓口実績	
(7) 法人主催定期講演会	
5. 精神科医療の担い手確保を視野においた、医療従事者の養成及び再教育を図る事業	12
(1) 鹿児島看護専門学校 入学者実績（1学年定員40名）	
(2) 在校生	
(3) 法人奨学生制度実績	
(4) 鹿児島看護専門学校主催公開無料講座	
(5) 地域医療従事者養成機関各種実習受け入れ	
(6) 臨床研修病院（協力型研修病院）研修受け入れ 公益社団法人鹿児島共済会南風病院	
(7) 社会福祉法人常盤会 作業療法士派遣実績	

6. 法人事業運営	14
(1) 理事会・社員総会・常任理事会開催実績	
①理事会	
○定例理事会	
○臨時理事会	
②社員総会	
○定時社員総会	
③常任理事会	
(2) 法人行事	
①法人役員と幹部職員との意見交換会	
②定期講演会・合同学会	
7. 中長期事業計画の積極的推進	17
(1) 地域移行機能強化病棟の取り組み（メンタルホスピタル鹿児島）	
(2) 電子カルテの導入（メンタルホスピタル鹿児島）	
8. 職員の資質と意欲の向上を目指し、安心して働ける職場環境の整備	17
(1) 人事考課制度の構築	
(2) 職場のハラスメント防止対策の強化	
(3) 働き方改革関連法・その他法改正へも対応しうる人事給与システムへの移行	
(4) 公的資格取得支援制度	
(5) 障害者雇用	
9. 財務・経営管理の強化	18
(1) 組織体制の整備（平成31年1月1日付）	
(2) メンタルホスピタル鹿児島の公益目的事業会計経理区分の見直し	
<事業報告書附属明細書>○職種別職員人数表（平成31年3月31日現在）	19

平成 30 年度 事業報告
(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

I. 事業概況

昨今、精神疾患患者数は、いわゆる 4 大疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）より多い状況となっている。さらに最近ではうつ病の気分障害や認知症の患者数の増加、薬物依存や発達障害への対応の社会的要請が高まっているなど、精神科医療に対する需要は以前より多様化する傾向が強くなってきている。

当法人では、公益社団法人に移行し 5 年目という節目の年を迎えた今年度、当法人が求められる使命・役割を再認識し、医療機関における機能分化の明確化、デイケア・訪問看護等の医療機能の在り方、精神障害者の地域移行や地域包括ケアシステムの構築などの精神科医療・福祉における様々な課題に取り組んできた。

また、定款と事業計画に基づき、精神障害者に対する救急・急性期診療及び安全で快適な療養環境の確保を中心とした医療の提供及び社会復帰のための各種支援を行うなど、公衆衛生の向上を図り、もって地域社会の健全な発展に寄与するために、安定した事業運営を行った。

II. 事業実績

1. 精神障害者に対して、救急・急性期治療等の医療を提供するとともに、リハビリテーションの実施をはじめとする各種社会復帰のための支援を行うことで、公衆衛生の向上を図る事業

(1) 診療実績 メンタルホスピタル鹿児島 (486床 平成30年4月～平成30年8月)
(466床 平成30年9月～平成31年3月)

月単位	精神一般病棟 (386床) 平成30年9月～ (306床)		地域移行機能強化 病棟 (60床) 平成30年9月～		精神科急性期病棟 (50床)		認知症治療病棟 (50床)		外来 患者数
	平均 入院 患者数	病床 稼働率	平均 入院 患者数	病床 稼働率	平均 入院 患者数	病床 稼働率	平均 入院 患者数	病床 稼働率	
H30.4	347.4	90.0%	—	—	37.8	75.5%	36.3	72.5%	1,636
H30.5	347.9	90.1%	—	—	38.9	77.7%	37.5	75.0%	1,723
H30.6	346.5	89.8%	—	—	40.4	80.9%	36.4	72.8%	1,663
H30.7	343.5	89.0%	—	—	41.6	83.2%	36.6	73.2%	1,644
H30.8	344.2	89.2%	—	—	39.3	78.6%	38.5	77.1%	1,748
H30.9	284.6	93.0%	57.4	95.7%	36.1	72.1%	37.8	75.6%	1,455
H30.10	283.2	92.6%	57.7	96.1%	39.9	79.7%	39.3	78.6%	1,800
H30.11	284.0	92.8%	57.4	95.7%	40.7	81.3%	39.4	78.8%	1,773
H30.12	289.0	94.5%	57.2	95.3%	40.5	81.0%	40.1	80.3%	1,656
H31.1	288.9	94.4%	56.7	94.6%	38.8	77.7%	43.7	87.4%	1,567
H31.2	292.4	95.5%	58.6	97.6%	36.5	73.0%	43.8	87.6%	1,545
H31.3	290.3	94.9%	59.0	98.0%	36.2	72.0%	40.1	80.0%	1,613
合計									19,823
平均	311.8	92.2%	57.7	96.1%	38.9	77.7%	39.1	78.2%	1,651.9

(2) 診療実績 (メンタルホスピタル鹿屋 230 床)

月単位	精神一般病棟 (230 床)		内 認知症疾患 医療センター 関連入院数	外来 患者数	内 認知症疾患 医療センター 関連外来数
	平均 入院 患者数	病床 稼働率			
H30.4	210.9	91.7 %	2	1,433	188
H30.5	208.0	90.4 %	4	1,444	195
H30.6	207.8	90.3 %	4	1,461	190
H30.7	212.5	92.4 %	6	1,500	205
H30.8	214.4	93.2 %	5	1,409	195
H30.9	211.5	92.0 %	5	1,366	198
H30.10	206.7	89.9 %	9	1,606	194
H30.11	208.1	90.5 %	10	1,489	195
H30.12	211.2	91.8 %	11	1,468	193
H31.1	209.1	90.9 %	8	1,451	192
H31.2	208.0	90.4 %	7	1,459	195
H31.3	210.7	91.6 %	7	1,584	186
合計			78	17,670	2,326
平均	209.9	91.3 %	6.5	1472.5	193.8

(3) 精神科領域診療業務委託実績

メンタルホスピタル鹿児島		
診療業務委託先	年間診療回数	診療患者延数
米盛病院	51 回	227 人

(4) 精神科リハビリテーション実績

メンタルホスピタル鹿児島				メンタルホスピタル鹿屋	
年間実施 延人数	前年対比	理学療法 年間実施延人数	前年対比	年間実施 延人数	前年対比
43,732 人	▲ 1,809 人	2,024 人	+ 107 人	26,992 人	▲ 137 人

(5) へき地医療・離島医療支援実績

メンタルホスピタル鹿児島		
診療支援先	支援回数	診療患者総数
薩摩川内市下甕手打診療所	12 回	125 人

(6) 共同生活援助実績

メンタルホスピタル鹿児島				メンタルホスピタル鹿屋	
グループホームアミカ (4床)		グループホームホープ (20床)		グループホーム集 (4床)	
利用者延数	前年対比	利用者延数	前年対比	利用者延数	前年対比
1,281人	+ 187人	6,422人	▲ 157人	1,015人	▲ 285人

(7) デイケア実績

メンタルホスピタル鹿児島				メンタルホスピタル鹿屋	
デイケア		デイナイトケア		年間利用者数	前年対比
年間利用者数	前年対比	年間利用者数	前年対比		
3,793人	▲ 1,734人	1,619人	▲ 26人	4,577人	+ 209人

(8) 訪問看護実績

メンタルホスピタル鹿児島		メンタルホスピタル鹿屋	
年間訪問件数	前年対比	年間訪問件数	前年対比
2,519件	+ 136件	3,505件	+ 398件

(9) 就労継続支援事業実績

メンタルホスピタル鹿児島	
就労継続支援事業所B型えい吉	
利用者延数	前年対比
986人	+ 484人

メンタルホスピタル鹿児島については、長期入院患者の退院支援を強化するため平成30年9月1日から精神一般病棟の60床を地域移行機能強化病棟へ転換し、あわせて病床稼働率90%以上の算定要件を満たすために病床を20床削減し、466床とした。

メンタルホスピタル鹿屋については、認知症疾患医療センターとしての認知度がさらに高まり、認知症疾患に係る外来や専門医療相談、入院等も増加している状況である。

2. 精神障害者の権利と安全の管理強化

(1) 病院機能評価更新

メンタルホスピタル鹿屋は、平成25年9月の病院機能評価初回認定後も、マニュアル等の定期的な見直し、各種委員会活動を行いながら病院の質の向上・改善活動に努め平成30年8月24日、25日に更新審査を受審した。IT関係の項目について指摘事項があったため、改善に関する中間報告を提出した。その他の項目については、おおむね問

題なく、2018年9月6日から2023年9月5日まで認定期間が更新された。

(2) 九州・沖縄ブロック「大規模災害実動訓練」参加

平成30年11月10日、鹿児島県にて九州・沖縄ブロックのDMAT（災害派遣医療チーム）が主催する「大規模災害実動訓練」が行われ、メンタルホスピタル鹿児島は、DPAT（災害派遣精神医療チーム）部門の訓練に参加した。平時に準備しておかなければいけないこと、災害発生時に優先しなくてはならないこと、地域の中で自院がしなければならないことを考えるよい機会となった。

3. 生活困窮者に対して、無料又は低額な診療を提供することで、公衆衛生の向上を図る事業

(1) 無料低額診療実績

メンタルホスピタル鹿児島	メンタルホスピタル鹿屋
利用者延数	利用者延数
0人	0人

4. 地域住民を対象とした予防措置や治療方法等の普及・啓発の事業実施、各種相談への対応を行うことで、精神科医療への理解促進と地域の福祉向上を図る事業

(1) 無料メンタルヘルス相談会実績

メンタルホスピタル鹿児島	
年間相談件数	前年対比
33件	+14件

(2) リワーク（復職支援）プログラム

メンタルホスピタル鹿児島			
支援回数	前年対比	利用者数	前年対比
268件	+115件	11人	+4人

(3) 精神科領域等の講師派遣活動

事業所名	職員氏名	派遣日	派遣先	研修会名
メンタルホスピタル 鹿児島	佐藤 大輔 (精神保健指定医)	平成30年4月16日	大塚製薬	第7回 How to USE LAI
	佐藤 大輔 (精神保健指定医)	平成30年12月19日	大日本住友 製薬 社内勉強会	「向精神薬病薬単剤化 の必要性～多剤併用・ 大量投与の（功）罪～」

	佐藤 大輔 (精神保健指定医)	平成 31 年 1 月 25 日	西部保健センター	「認知症の理解と対応」～認知症にならないためには～
	小山 恵里 (ピアサポーター) 鎌田 信弘 (ピアサポーター) 福永 康孝 (精神保健福祉士)	平成 30 年 5 月 30 日	日置市中央公民館	日置市自立支援協議会 ピアサポーターの取り組みについて
	小山 恵里 (ピアサポーター) 本武 大典 (作業療法士)	平成 30 年 6 月 2 日 ～ 平成 30 年 6 月 3 日	N T T 東日本病院	医療現場におけるピアサポートの活用と実際
	小山 恵里 (ピアサポーター)	平成 30 年 7 月 15 日 ～ 平成 30 年 7 月 16 日	県精神保健福祉士 協会鹿児島県庁	ピアサポーター養成講座の研修
	小山 恵里 (ピアサポーター)	平成 30 年 8 月 5 日	はーと・ぱーく	ピア学びの講座
	小山 恵里 (ピアサポーター) 中山 優紀 (作業療法士) 寺田 真美 (精神保健福祉士) 森田 瞳 (臨床心理士) 鶴田 絢子 (臨床心理士) 中川 裕茂 (薬剤師)	平成 30 年 4 月 ～ 平成 31 年 2 月	就労移行支援事業 所リバーサイド	就労に関する 勉強会講師 (全 6 回)
	小山 恵里 (ピアサポーター) 福永 康孝 (精神保健福祉士) 鎌田 信弘 (ピアサポーター) 前村 英葵 (作業療法士)	平成 30 年 8 月 28 日 ～ 平成 30 年 8 月 29 日	宮崎市民プラザ	宮崎県ピアサポーター・家族会との意見交換会

小山 恵里 (ピアサポーター) 本武 大典 (作業療法士)	平成 30 年 10 月 4 日 ～ 平成 30 年 10 月 5 日	日本精神医学会芸 術大会	医療現場におけるピア サポート専門員の活用
小山 恵里 (ピアサポーター) 越智 裕之 (精神保健福祉士) 本武 大典 (作業療法士)	平成 30 年 10 月 18 日 ～ 平成 30 年 10 月 19 日	徳之島病院	自立支援協議会地域移 行支援におけるピアサ ポーターの役割
小山 恵里 (ピアサポーター) 越智 裕之 (精神保健福祉士) 本武 大典 (作業療法士)	平成 30 年 10 月 18 日 ～ 平成 30 年 10 月 19 日	徳之島病院	家族教室
小山 恵里 (ピアサポーター) 福田 紘子 (精神保健福祉士)	平成 30 年 10 月 24 日	川薩保健所	統合失調症について 知ろう (家族教室)
小山 恵里 (ピアサポーター) 福永 康孝 (精神保健福祉士)	平成 31 年 3 月 9 日	宮崎県総合保健 センター	平成 30 年度実務者研 修・多職種連携研修会
黒木 和博 (看護師)	平成 30 年 4 月 ～ 平成 31 年 3 月	ハローワーク	医療機関と職業安定所 の連携による就労支援 モデル事業 責任者
寺田 真美 (精神保健福祉士)	平成 30 年 4 月 ～ 平成 31 年 3 月	ハローワーク	医療機関と職業安定所 の連携による就労支援 モデル事業 アドバイ ザー
福永 康孝 (精神保健福祉士)	平成 30 年 9 月 18 日 ～ 平成 30 年 9 月 20 日	サンロイヤル ホテル	30 年度相談支援専門員 研修初任者研修ファシ リテーター
福永 康孝 (精神保健福祉士)	平成 31 年 3 月 12 日	サンロイヤル ホテル	30 年度サービス管理責 任者等研修 (就労分野) ファシリテーター
福永 康孝	平成 31 年 1 月 25 日	東部保健センター	母子保健事業関係者研

	(精神保健福祉士)			修会及び連絡会 講師
	福永 康孝 (精神保健福祉士)	平成 30 年 8 月 25 日	県医師会館	産婦健康診査事業実施 に伴う精神科・産婦人 科第 3 回合同研修会 講師
	福永 康孝 (精神保健福祉士)	平成 30 年 11 月 21 日	川内保健所	川薩保健所家族会 講師
	福永 康孝 (精神保健福祉士)	平成 31 年 2 月 16 日	はーと・ぱーく	精神保健福祉士協会 講師
	福永 康孝 (精神保健福祉士)	平成 30 年 6 月 11 日	原良小学校	福祉フェスタ in はらら 実行委員長
	森田 瞳 (臨床心理士)	平成 30 年 4 月 17 日	就労移行支援事業 所リバーサル鹿児島 島	就労プログラム 「ストレスマネジメント について」
	鶴田 絢子 (臨床心理士)	平成 30 年 10 月 17 日	就労移行支援事業 所リバーサル鹿児島 島	就労プログラム 「気持ちとの付き合い 方」
	久保田 真作 (臨床心理士)	平成 31 年 2 月 15 日	更生保護法人 日本更生保護協会 (志布志市老人福 祉センター)	平成 30 年度保護司会 S S T 自主研修 (曾於保護区)
	上松 久美子 (看護師)	平成 30 年 4 月～	鹿児島医療センタ ー	精神科看護講義
	黒木 和博 (看護師)	平成 30 年 7 月 15 日 ～ 平成 30 年 7 月 16 日	鹿児島県障害福祉 課	ピアサポーター養成講 座 (ファシリテーター)
	黒木 和博 (看護師)	平成 30 年 8 月 18 日	日精看鹿児島支部	地域移行支援研修会
	黒木 和博 (看護師)	平成 30 年 10 月 20 日	鹿児島県障害福祉 課	鹿児島県 DPAT 研修会 (ファシリテーター)
	黒木 和博 (看護師)	平成 31 年 1 月 31 日	鹿児島県障害福祉 課	精神障害者地域移行地 域定着推進研修
	山本 桂子 (看護師)	平成 30 年 7 月 18 日	長寿安心センター	認知症サポーター研修 講義
	山本 桂子 (看護師)	平成 30 年 12 月 5 日	長寿安心センター	認知症サポーター研修 講義
メンタルホスピタル 鹿屋	新西真理恵 (精神保健福祉士)	平成 30 年 8 月 7 日	さつき苑	認知症カンファレンス in 大隅

	林田里恵 (臨床心理士)	平成 30 年 6 月 11 日	鹿屋工業高校	教育相談
	林田里恵 (臨床心理士)	平成 30 年 11 月 6 日	志布志中学校	ゲートキーパー 養成講座
	林田里恵 (臨床心理士)	平成 30 年 12 月 12 日	伊崎田中学校	ゲートキーパー 養成講座
	林田里恵 (臨床心理士)	平成 30 年 12 月 19 日	有明中学校	ゲートキーパー 養成講座
	四元 淳 (准看護師)	平成 31 年 3 月 20 日	志布志保健所	アルコール依存症基本 的知識と対応

(4) 地域支援活動等

事業所名	職員氏名	地域支援活動等
メンタルホスピタル 鹿児島	佐藤 大輔	鹿児島市精神保健嘱託医
		鹿児島市医師会病院 協力運営委員
		鹿児島県精神保健福祉協議会鹿児島県精神医療審査会委員
		鹿児島県立始良病院医療観察法病棟倫理会議委員
		鹿児島市保護第一課 鹿児島市生活保護嘱託医
		公益財団法人日本医療機能評価機構病院機能評価サーベイヤー
		社会福祉法人みさかえ学園 理事・評議員
		被害者支援ネットワーク西 会員
	松原 康久	被害者支援ネットワーク西 幹事
	森田 瞳	鹿児島県臨床心理士会 医療保健領域 理事
	久保田 真作	鹿児島県臨床心理士会 医療保健領域 研修委員
	福永 康孝	鹿児島県精神保健福祉士協会 理事
	越智 裕之	平成 30 年度長期入院精神障害者の地域移行推進事業 病院窓口担当者 (平成 30 年 9 月～平成 31 年 3 月)
	中山 優紀	鹿児島県作業療法士協会代議員
西郷 明日香 門之園 琴子	あじさい城西 (鹿児島市支援支えて育成モデル事業)	
早川 幸人 吉野 通代 濱田 省吾 下村 真子 桑田 阿友美 小杉 愛美 川畑 悠司	オレンジテラス i n ながよし	

	山内 友華里 宮平 ゆかり 赤岩 真登佳 長田 智子 小山 恵里	
	福永 康孝 山之内 美穂 早川 幸人 寺田 真美 吉野 通代 下村 真子 桑田 阿友美 小杉 愛美 松原 宏志 長田 智子 赤岩 真登佳 岩切 美保子 前村 英葵 砂田 大地 中山 優紀	福祉フェスタ in はらら
	小山 恵里 鎌田 信弘 福永 康孝 福田 紘子 山之内 美穂	鹿児島ピアサポーターの集い
	森田 瞳 谷川 加奈子 米満 裕之	永吉地区健康クラブ
	森田 瞳	認知症カフェ（ふれあいカフェいちょうの樹）
	福永 康孝	城西地区地域包括支援ネットワーク実務者会議 全3回
	中山 優紀 福永 康孝	障害ピアサポート～多様な障害領域の歴史と今後～ 編纂岩崎かおり 中央出版「医療機関等におけるピアサポートの活力」で執筆協力
	長田 智子 赤岩 真登佳	れいんぼうフェスタ 2018
	長田 智子 松原 宏志	まちかど交流講座
	黒木 和博	精神障害にも適応した地域包括ケアシステムの構築支援事業都道府県等密着アドバイザー

	黒木 和博	鹿児島県災害派遣精神医療チーム（D P A T）運営委員会委員
	黒木 和博 山西 あすか	永吉地区災害訓練への参加
	下川 充子	鹿児島県精神病院協会 看護部長会役員
	上松 久美子	日精看鹿児島県支部役員
メンタルホスピタル 鹿屋	小林 憲史	介護保険審査会 1回/月
	山下 昇子	障害程度区分審査 kai
	新西 真理恵	市民講座（後見人制度）

（５）鹿児島県精神科救急システム当番病院実績

メンタルホスピタル鹿児島		メンタルホスピタル鹿屋	
当番回数	対応件数	当番回数	対応件数
5回	5件	8回	9件

（６）鹿児島県精神科医療電話相談窓口実績

メンタルホスピタル鹿児島		メンタルホスピタル鹿屋	
当番回数	対応件数	当番回数	対応件数
9回	8件	7回	8件

（７）法人主催定期講演会

開催日	開催場所	講演会内容
平成30年12月1日	メンタルホスピタル 鹿児島 新館多目的ホール	「自殺予防と臨床」 講師 今村 芳博 先生 (福岡県直方市 直方中村病院 医局長) 参加人数 160名

地域住民を対象とした精神科医療への理解促進と地域の福祉向上を図る上で、行政や各種保険福祉関係団体への研修会等で、精神障害を持つピアサポート専門員の観点からの研修会や社会復帰といった支援活動に関する研修会等への講師派遣が増えている。

また、地域支援活動として地域イベントに積極的に参加・企画を行い、地域のニーズに迅速に応えられる病院づくりを推進している。法人主催の定期講演会では、福岡県直方市直方中村病院医局長今村芳博先生より、自殺予防と臨床をテーマに講演をいただき、好評をいただいた。

5. 精神科医療の担い手確保を視野においた、医療従事者の養成及び再教育を図る事業

(1) 鹿児島看護専門学校 入学者実績 (1 学年定員 40 名)

応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
81 名	81 名	55 名	38 名

(2) 在校生

1 年生	2 年生	3 年生	合計
38 名	41 名	36 名	115 名

(3) 法人奨学生制度実績

1 年生	2 年生	3 年生	合計
9 名	17 名	11 名	37 名

(4) 鹿児島看護専門学校主催公開無料講座

開催日	開催場所	講座内容
平成 30 年 11 月 9 日	メンタルホスピタル 鹿児島 新館多目的ホール	演題：「スマホ・ケータイ安全教室」 講師：NTT ドコモ 木下充子 氏 参加人数 110 名
平成 31 年 2 月 22 日	メンタルホスピタル 鹿児島 新館多目的ホール	演題：「医療倫理」 ～クライアントからパートナーへ～ 講師：医療法人起生会 林内科胃腸科病院長 上津原 甲一 氏 参加人数 120 名

(5) 地域医療従事者養成機関各種実習受け入れ

事業所名	実習依頼先	延人数	実習目的	実習期間
メンタルホスピタル 鹿児島	鹿児島看護専門学校	432 名	精神看護学実習(病棟)	平成 30 年 4 月 9 日 ～ 4 月 27 日 平成 30 年 6 月 25 日 ～ 7 月 13 日
	神村学園高等部 看護学科専門課程	312 名	精神看護学実習(病棟)	平成 30 年 5 月 21 日 ～ 6 月 1 日 平成 30 年 6 月 4 日 ～ 6 月 15 日
	龍桜高等学校 看護専門課程	288 名	精神看護学実習(病棟)	平成 30 年 7 月 23 日 ～ 8 月 9 日

	神村学園専修学校 看護学科	351名	精神看護学実習(病棟)	平成30年9月10日 ～9月21日 平成30年10月1日 ～10月12日
	鹿児島医療法人協会立 看護専門学校	32名	精神看護学実習 (デイケア)	平成30年7月17日 ～7月19日 平成30年7月23日 ～7月26日
	鹿児島大学大学院	4名	臨床心理地域援助実習	平成30年6月19日 ～6月25日 平成30年11月7日 ～11月14日
	志学館大学大学院	3名	臨床心理実習	平成30年7月4日 ～7月13日
	志学館大学人間関係学部	3名	医療臨床実習	平成30年8月8日
	鹿児島純心女子大学大学院	6名	臨床心理見学実習	平成30年8月30日
	九州医療専門学校	1名	精神保健福祉士実習	平成30年10月29日 ～11月13日
	鹿児島大学	1名	長期実習	平成30年8月27日 ～10月6日
	鹿児島医療技術専門学校	4名	見学実習 評価実習 長期実習	平成30年5月7日 ～7月13日 平成31年2月25日 ～3月1日 平成31年3月4日 ～3月8日 平成31年1月21日 ～2月8日
	熊本駅前看護リハビリテー ション学院	1名	長期実習	平成30年6月18日 ～8月10日
	九州保健福祉大学	1名	見学実習	平成31年2月12日 ～2月15日
	神村学園専修学校	1名	評価実習	平成30年10月9日 ～11月2日
メンタルホスピタル 鹿屋	鹿児島医療技術専門学校	2名	作業療法士長期実習 作業療法士見学実習	平成30年5月7日 ～7月13日 平成31年3月5日 ～3月9日

	第一医療リハビリ専門学校	3名	作業療法士長期実習 作業療法士見学実習	平成30年8月27日 ～10月6日 平成31年3月18日 ～3月20日
	麻生医療福祉専門学校	1名	精神保健福祉士 臨地実習	平成30年6月11日 ～6月26日

(6) 臨床研修病院（協力型研修病院）研修受け入れ 公益社団法人鹿児島共済会南風病院

メンタルホスピタル鹿児島
受入研修医数
4名

(7) 社会福祉法人常盤会 作業療法士派遣実績

メンタルホスピタル鹿児島
派遣回数
23回

医療従事者の養成等の事業については、鹿児島看護専門学校では引き続き学生確保に向け高等学校訪問の強化やオープンキャンパスの実施を積極的に実施している。また、法人奨学生を希望する学生に対して、公正な選考基準のもと新たに9名の学生に対し奨学金の貸与を決定した。鹿児島看護専門学校の無料公開講座も定期的で開催し、地域医療従事者機関の実習受け入れについても例年通り継続して行っている。今年度も、メンタルホスピタル鹿児島は、協力型研修病院として南風病院の研修医を1か月間受け入れ、診療部門・看護部門・コメディカル部門それぞれでの精神科医療に対する理解を深めてもらい養成を図っている。

6. 法人事業運営

(1) 理事会・社員総会・常任理事会開催実績

①理事会

○定例理事会

平成30年6月9日（土）

(議題) 平成29年度事業報告

平成29年度決算書類承認の件

定時社員総会開催の件

公印管理規程全部改正の件

報告事項

・職務執行状況報告（平成30年3月以降）

○臨時理事会

平成30年11月22日（木）

（議題）就業規則・給与規程改正の件

法人統括本部組織規程・メンタルホスピタル鹿児島職務権限規程改正

契約案件（メンタルホスピタル鹿児島 電子カルテ・医事会計システム）

○定例理事会

平成31年3月20日（水）

（議題）平成31年度事業計画案・収支予算案について

人事案件（平成30年6月以降）

契約案件

・鹿児島看護専門学校 空調入替工事（東側1・2階）

各規程変更について

・就業規則

・病院職務権限規程

報告事項

・職務執行状況報告（平成30年6月以降）

②社員総会

○定時社員総会

平成30年6月24日（日）

（議題）平成29年度事業報告

平成29年度計算書類承認の件

③常任理事会

○平成30年4月17日（火）

（議題）平成30年度定期昇給について

症例検討会実施によるweb会議システム導入について

6月決算定例理事会前の常任理事会日程について 他

○平成30年6月5日（火）

（議題）平成30年6月9日定例理事会に付議する事項の協議

平成30年度夏季賞与について 他

○平成30年9月11日（火）

（議題）職員のハラスメントの防止案に関する規程について

平成 30 年度下期スケジュールについて
平成 30 年 4～7 月期収支報告 他

○平成 30 年 11 月 13 日 (火)

(議題) 平成 30 年 11 月 22 日臨時理事会に付議する事項の協議
平成 30 年度冬季賞与について
メンタルホスピタル鹿児島患者未収入金に関する報告

○平成 30 年 12 月 11 日 (火)

(議題) 平成 31 年度理事長方針発表
平成 31 年度事業計画・収支予算スケジュールについて
平成 30 年 4～10 月期収支報告
人事制度 (等級・人事評価制度) 報告
電子カルテ導入事業進捗計画報告 他

○平成 31 年 2 月 19 日 (火)

(議題) 平成 31 年度予算設備投資計画について
常任理事会・定例理事会の日程について 他

○平成 31 年 3 月 12 日 (火)

(議題) 平成 31 年 3 月 20 日定例理事会に付議する事項の協議
業務執行報告について
働き方改革について 他

(2) 法人行事

①法人役員と幹部職員との意見交換会

平成 30 年 12 月 1 日 (日) 城山観光ホテル
来賓 1 名、役員 11 名、職員 14 名 計 26 名

②定期講演会・合同学会

平成 30 年 12 月 1 日 (日)

<定期講演会>

メンタルホスピタル鹿児島多目的ホール 160 名 参加

<合同学会>

メンタルホスピタル鹿児島多目的ホール 200 名 参加

法人事業運営については、社員総会・理事会の適正な運営に努め、法人役員と幹部職員との意見交換会や定期講演会・合同学会等も実施した。今後もより良い法人運営を実施していく。

7. 中長期事業計画の積極的推進

(1) 地域移行機能強化病棟の取組み（メンタルホスピタル鹿児島）

「入院医療中心から地域生活中心へ」という国の精神保健福祉施策の基本的方策に則り、メンタルホスピタル鹿児島では、長期入院患者の退院支援を強化するため平成30年9月1日から精神一般病棟の60床を地域移行機能強化病棟へ転換し、あわせて病床稼働率90%以上の算定要件を満たすために病床を20床削減し、466床とした。

(2) 電子カルテの導入（メンタルホスピタル鹿児島）

電子カルテの導入に向けて4社によるプレゼンテーションを実施し、操作性・利便性・安全性や価格面など総合的に評価し、レスコ社の「アルファ」の導入を決定した。なお、本稼働は、現状分析、運用の検討、基本情報の決定、操作教育などを経て2019年6月の予定である。

8. 職員の資質と意欲の向上を目指し、安心して働ける職場環境の整備

(1) 人事考課制度の構築

平成30年5月から一次・二次評価者を中心としたプロジェクトチームによる、資格制度や評価制度の見直しのための協議を重ね、委託先のKERが取りまとめを行い、平成31年1月から、職員への制度説明、考課者・被考課者訓練と併せて役職者研修を実施した。平成31年度中の試行期間を経て、令和2年度から本格実施の予定である。

(2) 職場のハラスメント防止対策の強化

ハラスメント行為を断じて許さず、すべての職員が互いに尊重し合える安全で快適な職場環境づくりに取り組むため、規程の整備を行い、相談窓口の設置、相談員の配置、理事長名による職員向けの「ハラスメントの防止に関する方針」の発表、全職員を対象とした研修を実施した。

(3) 働き方改革関連法・その他法改正へも対応しうる人事給与システムへの移行

平成31年1月に新システムへ移行を行い、今後、より一層細やかな対応が必要となる働き方改革関連法・その他法改正にも迅速に対応しうる最新のシステムを導入した。

(4) 公的資格取得支援制度

利用者8名（公認心理師7名、精神保健福祉士1名）

- (5) 障害者雇用（平成 31 年 3 月 31 日現在）
身体障害者 1 名、精神障害者 8 名 計 9 名

9. 財務・経営管理の強化

(1) 組織体制の整備（平成 31 年 1 月 1 日付）

法人事務局の組織運営の迅速化・適正化を進めるとともに責任体制の明確化と指揮・命令系統の確立を図るため、総務財務課を総務人事課と財務課の二課体制に再編、また、メンタルホスピタル鹿児島の記事部の中核部を担う、総務経理部門の位置付けの明確化及び組織の充実・強化を図るため、総務経理課を総務課と経理課の二課体制に移行した。

(2) メンタルホスピタル鹿児島の公益目的事業会計経理区分の見直し

メンタルホスピタル鹿児島の公益目的事業会計経理区分について、現在の慢性期、急性期、GH アミカ、GH ホープ、託児所、B 型えい吉の 6 の区分を、各部署における事務処理及び管理の効率化と業務の軽減を図るため、慢性期と急性期を統合して「メンタルホスピタル鹿児島」に、GH アミカと GH ホープを統合して「グループホーム」にそれぞれ平成 31 年度（令和元年度）から見直し、4 の区分とする。

<事業報告書附属明細書>○職種別職員人数表（平成31年3月31日現在）

職種	MH鹿児島		MH鹿屋		鹿児島看護専門学校		法人統括本部		合計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師	12	21	6	4	0	0	0	0	18	25
薬剤師	5	1	2	0	0	0	0	0	7	1
看護師	115	11	60	0	0	0	0	0	175	11
准看護師	36	7	31	0	0	0	0	0	67	7
看護助手	41	3	23	0	0	0	0	0	64	3
診療放射線技師	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0
臨床検査技師	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
公認心理師	5	0	2	0	0	0	0	0	7	0
作業療法士	15	2	10	0	0	0	0	0	25	2
理学療法士	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
精神保健福祉士	17	0	5	0	0	0	0	0	22	0
管理栄養士	3	0	3	0	0	0	0	0	6	0
事務職	18	5	8	3	3	1	9	1	38	10
教務	0	0	0	0	14	1	0	0	14	1
保育士	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0
調理師	0	0	13	0	0	0	0	0	13	0
営繕	5	1	4	2	0	0	0	0	9	3
薬剤助手	1	1	2	1	0	0	0	0	3	2
中央材料助手	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
作業療法助手	2	2	0	1	0	0	0	0	2	3
GH世話人	2	1	1	0	0	0	0	0	3	1
クリーンスタッフ	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6
ピアサポーター	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
調理員	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0
音楽療法講師	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
図書司書	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
職業指導員	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
社会福祉士	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
検査助手	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
小計	287	66	174	11	17	3	9	1	487	81
合計	353		185		20		10		568	

※非常勤…非常勤医師・パート（フルタイム・短時間）など